

(別添3)

【川崎町】

校務DX計画

ICTを活用し、業務改善を目指します。学校における校務の負担軽減を図り、教職員の長時間労働を削減することで、児童生徒と関わる時間や授業の質を向上させるための時間を増やし、学校全体の指導力の向上につなげます。

1. 校務の情報化に向けた取り組み

教職員の負担軽減、業務の効率化の観点から、校務の情報化に向けた取り組みとして、会議資料のペーパーレス化や押印廃止、FAXの原則廃止等を可能とする校務手続きの見直し、学校内部のルールや慣習の見直し汎用のオンラインツールの利活用を積極的に進めていきます。

2. 統合型校務支援システムの導入

保健系のシステムのみ導入し、校務支援システムは導入していません。教職員の負担軽減、働き方改革のため、早急に導入できるよう準備を進めていきます。

3. 教職員間の情報共有

校内や教育委員会を含めた学校間のコミュニケーションを円滑にし、業務等の効率化を図るため、教職員間の連絡、データやスケジュール等の共有を可能とするグループウェア等のツールの導入を検討します。

4. 学校・保護者間の連絡

学校から保護者への情報発信は、児童生徒の学校での活動を理解していただくうえで重要です。学校からのたよりの配信、欠席の連絡の受付け、保護者あてアンケートなどのオンライン化により保護者の利便性向上や教職員の業務負担軽減、校務の効率化を図ります。

(数値目標)

項目		現状値		目標値	
「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検等		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
校務のデジタル化	校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業の一掃に取り組む学校の数	未導入	未導入	システム導入	5
	教職員間の情報共有や連絡等にクラウドサービスを取り入れている学校の数	2	3	5	5
	児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡の全て又は半数以上をクラウドサービス等を用いて、PC・モバイル端末等から受けつけ、学校内で集計している学校の数	1	1	3	5